

# 金融庁インパクトコンソーシアム データ指標分科会事例発表

# (株)環境エネルギー投資のインパクト投資

2025年 11月

株式会社 環境エネルギー投資



# 会社概要

### 環境エネルギー・モビリティ分野に特化した 日本で唯一の独立系ベンチャーキャピタル

#### 会社概要

社名 株式会社環境エネルギー投資

代表 河村 修一郎

設立日 2006年3月3日

役職員数 22名

当該分野に精通し運用実績を有するキャピタリストの総合力によりファンドを運用。一貫して**投資リターン&環境・社会的インパクト**を創出。

脱炭素社会の実現へ向けて飛躍が期待される次世代 のエネルギー領域やモビリティ&物流領域を中心に、 先鋭化する社会・環境課題解決に寄与する有望な事 業モデルやテクノロジーを有するスタートアップへ の投資を実行。

### 合計で約650億円のファンド運用実績

#### 2007年9月設立

環境エネルギー1号投資事業有限責任組合

(35.0億)

投資先数:18社

#### 2011年9月設立

EEIクリーンテック投資事業有限責任組合

(60.7億円) 投資先数:39社

#### 2015年4月設立

EEIスマートエナジー投資事業有限責任組合

(96.5億円) 投資先数:40社

#### 2018年6月設立

EEI4号イノベーション&インパクト投資事業

有限責任組合(152億円)

投資先数:39社

#### 2022年9月設立

EEI5号イノベーション&インパクト投資

事業有限責任組合(300億円)

投資先:34社(2024年12月時点)

2006 2010 2015 2020 2025 2030

© 2025 Energy & Environment Investment, Inc.

2024年7月設立

**EEI Booster Fund** 

(基幹ファンドの

成長軌道に乗った投資先を対象)

### EEIのミッションと活動

Sustainability
through
Innovation and
Entrepreneurship

自らも起業家精神を持ち、新しい事業の創造と革新的なイノベーションを起こすスタートアップに対する投資・支援を通じて、持続可能な社会の実現を目指します。



脱炭素を中心とした環境・社会課題に対して先見性をもって取り組み、新しい事業の創造と革新的な**イノベーションを起こす**スタートアップへ投資



インパクトの創出を通じて高い成長性を目指す投資先に対し、**事業・インパクト戦略の策定と実行**をサポート



領域特化型VCのパイオニアとして、業界や国内外のネットワークを活用し、環境・エネルギー課題に取り組むスタートアップエコシステムを構築



グローバル課題に対し、**日本の市場から世界に**インパクトを与えるポテンシャルを持つスタートアップを創出

# スタートアップへの投資を通じて新産業の創出に貢献:1号-5号ファンド投資先事例

創業当初より、エネルギーの構造転換を中心に時代の半歩先を見据えたテクノロジーやビジネスモデルの創出や投資を通じて新産業の 創出に貢献してきました。

2007

2011

2015

2018

2022

### 1号ファンド・2号ファンド

3号ファンド

メガソーラーの開発

オンサイトPPA



**VPP.JAPAN** 



再エネの開発・運営

法人向けオンサイトPPA

家庭向けオンサイトPPA

2017年IPO

2020年&2023年 トレードセール



エネマネ&PPA

i GRID

省エネ&エネルギー マネジメント 2018年&2023年 トレードセール

主に低圧向け太陽光開発



2019年IPO



電力自由化

マンション一括受電

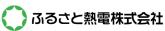
2024年IPO

### 4号ファンド

オフサイトPPA



非FIT再エネ発電所の運営、 コーポレートPPA



地熱発電所の運営

### 5号ファンド

太陽光 セカンダリー



moreパワー

既存太陽光セカンダリー&リパワリング

次世代エネルギー

TSURAME BHB

アンモニア生成技術

フードテック



特殊冷凍テクノロジー

EV



EVバスの開発



EV物流車の開発



小型EVの開発

#### 自動運転



幹線物流

#### カーボンマネジメント





FAEGER



CO2排出量の見える化

森林からのカーボン 農業由来のカーボン 膜技術によるカー クレジットの創出 クレジットの創出

ボンキャプチャー

インパクト測定・マネジメントを開始(70社以上)

### EEIの3つの重点投資領域

脱炭素を中心とした環境・社会課題に取り組むスタートアップへ投資し、事業成長とインパクト創出を支援しています。

### **■**Energy Transition

### 脱炭素社会実現に向けたエネルギーの構造転換

- 脱炭素社会の実現へ向けて飛躍が期待される 次世代エネルギービジネス
- エネルギー安定供給や生活インフラを支える新たな ビジネスモデルや技術

### ■ Mobility & Transportation

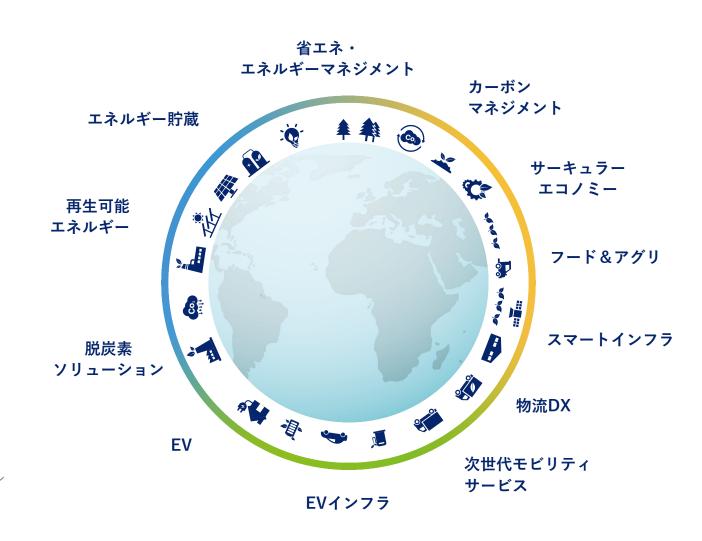
#### 輸送関連セクターのCO2排出削減と社会課題解決

- 蓄電池・EV等、モビリティーに関する 新しいインフラのイノベーション
- 過疎化や人手不足が進む地域社会への モビリティーソリューション

### **Smart Society**

### 環境変化や資源不足に対応するための社会の スマート化と持続可能な基盤づくり

- 循環型社会、人的・自然資源の有効活用を促進し、 持続可能な社会を実現するデジタル技術やビジネスモデル
- 気候変動への緩和・適応に有効な技術



## EEI4号ファンドのポートフォリオ

※2025年9月時点

# 投資社数:39社

### **Energy Transition**

### **Mobility & Transportation**

**IPO** 

EEI 4号

EXIT/IPO:7社 出資約束金額: 152億円



地熱発電所の運営



再エネの開発、EPC/O&M



自家消費型太陽光の提供



分散電源エネマネ



非FIT再工ネ開発、 生グリーン電力供給

ASUENE

CO2排出量管理

スマートリモコン によるを基点に NATURE 電力事業へ展開



セル単位の制御が 可能なBMSを開発

### Oample

EV充電プラットフォーム

### PlUGO

EV充電器の製造・ サービス提供



EV物流車の開発・販売



EVバスの開発・販売



車載型バイナリー発電

NYLE

インターネットでの

自動車販売

HATCHW RK

月極駐車場のDX

SKYDRIVE

空飛ぶクルマの開発

scheme Verge

MaaSやDXによるエ リアマネジメント

CLARA

シェアサイクル事業

Shippio

物流のラストワンマイルのDX デジタルフォワーダ

### **Smart Society**



### 光トランシーバ内素子の開発・

製造。電力消費を大幅削減

スマートインフラ/モニタリング



SusLab



SDGsの見える化

**Xistroscale**スペースデブリの除去

レジリエンス

#### **SDGs**



#### 食・ヘルスケア







環境

寝かせ玄米の レーダーによる 高齢者見守り

健康管理アプリ

生分解性プラス チックの開発 副業プラット



プロ人材との マッチング





マイボトル HRオートメーション

スマートホーム

· Y · U · K · A · I ·

·E·N·G·I·N·E·E·R·I·N·G·

コミュニケーション

ロボットの開発

スマートホーム 向けUI/UXの開発

SAR衛星ソリューション



高解像度イメージ センサの開発

SUMATEN 法定点検のDX

© 2025 Energy & Environment Investment, Inc.

# IPO

SPACE SHIFT

Synspective

CLUE ドローンによる屋根点検

SAR衛星データの解析

### EEI 5号ファンドの投資実績とポートフォリオ

※2025年9月時点

# 投資社数:41社

### **Energy Transition**

### **Mobility & Transportation**

EREVISTA

既存太陽光セカン

ダリー仲介



再エネ事業の開発、コーポ レートPPAによる電力供給

. AETERLINK

ワイヤレス給電 の開発

moreパワー



複合素材の開発

**TSUBAME BHB** 

アンモニア生成技術

**♣** Beff

電池製造・開発に関

わる問題解決支援

既存太陽光セカンダ リー&リパワリング



Anaphite

電池製造プロセスに関

わるイノベーション

換気制御通じた空調 CYNAPS 効率化による省エネ



elleThermo

低温帯の 未利用熱 発電技術



低電力・高効率処理を可能 にするイベントセンサー向け ソフトウェア





小型EVの開発





船舶の電動化

### **M** PowerWave

電界結合方式による 無線給雷









過疎地域におけるAIオンデ 農業用自律走行 自動運転トラック ロボットの開発 による幹線輸送 マンド配車システム

荷主と運送会社の マッチングと物流DX



CO2レスのラストワ ンマイル配送



航空分野における 運行を最適化



インフラ点検向け多関 節ロボットを開発

# DeepForest FAEGER

森林からのカーボン 農業由来のカーボン クレジットの創出 クレジットの創出

膜技術によるカー ボンキャプチャー

00100



<table-cell-rows> Sustineri 🥻 Symbiobe

カーボンクレジット カーボンクレジット 光合成細菌を用いた プラットフォーム プラットフォーム CO2/N2の固定、資源化



IMPACT CIRCLE

インパクト投資プラッ トフォーム

### **Impact Management**



小型ラマンセンサー の開発・材料開発 支援

**Industrial Innovation** 

### **DAY BREAK**

特殊冷凍 テクノロジー

### TYPICA

コーヒー生豆の オンラインプラッ トフォーム

# TWO

プラントベース フードの開発



中性子線を用い た品種改良技術





藻類を活用したレ アメタル回収

複合プラスチック



偷 すむたす

「iBuver」×リ

ノベーション

**∢** crassone

解体工事のDX

越境ECにお けるReverse Logistics

**Carbon Management** 

Food

### Circular Economy

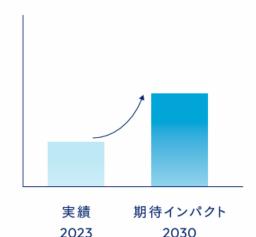
## インパクト投資の手法

### インパクト定性評価 / Five Dimensions of Impact フレームワーク Impact Dimension **Impact Questions** ■ 期間中にどのような成果があるか What ■ 成果がプラスかマイナスか ■ それを経験する人々や地球環境にとってどのように重要か ■誰が成果を経験しているか Who ■ ステークホルダーがどの程度影響を受けるか How much ■ 規模、変化の度合い、期間に関して、どの程度の成果が生じるか Contribution ■ 当該事業がなかった場合に、変化が起こりうるか Risk ■ 想定通りのインパクトを生み出せなくなるリスクは何か

### インパクト定量評価

### 期待インパクトKPIを設定

定量目標として、SDGsやIRIS+ 等を参考に、直接的/間接的な インパクトKPIを設定



### 主なSDGs貢献目標







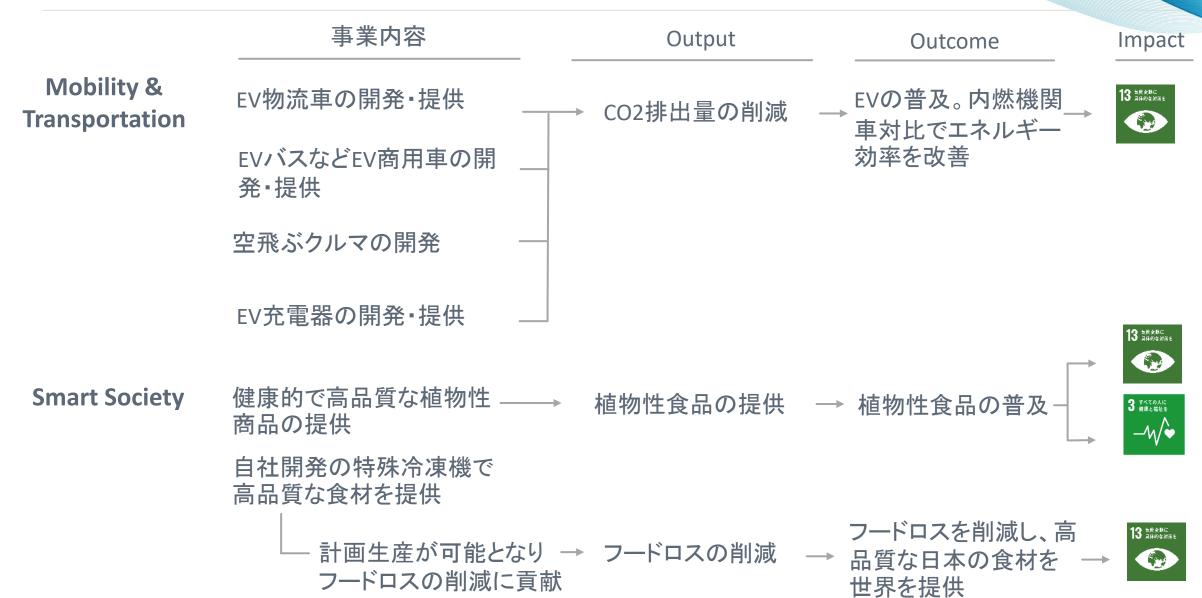




# 投資先による社会課題解決

事業内容 Outcome **Impact** Output **Energy Transition** 13 無保倉職に 具件的存対策を 家庭向け自家消費型太陽 再エネ発電量の増加 → CO2排出量の削減 → 光供給サービス 非FIT太陽光による太陽光 コーポレートPPA CO2排出量の見える化ク CO2削減のためのソ → CO2排出量の削減 ラウドサービスの提供 リューションの提供 持続可能性報告書 サプライチェーンの → の発行によるCO2排 → CO2排出量の把握 CO 出削減の促進 水田の中干しによるメタ → カーボンクレジットの創出 → CO2排出のオフセット→ ン発生の抑制

# 投資先による社会課題解決

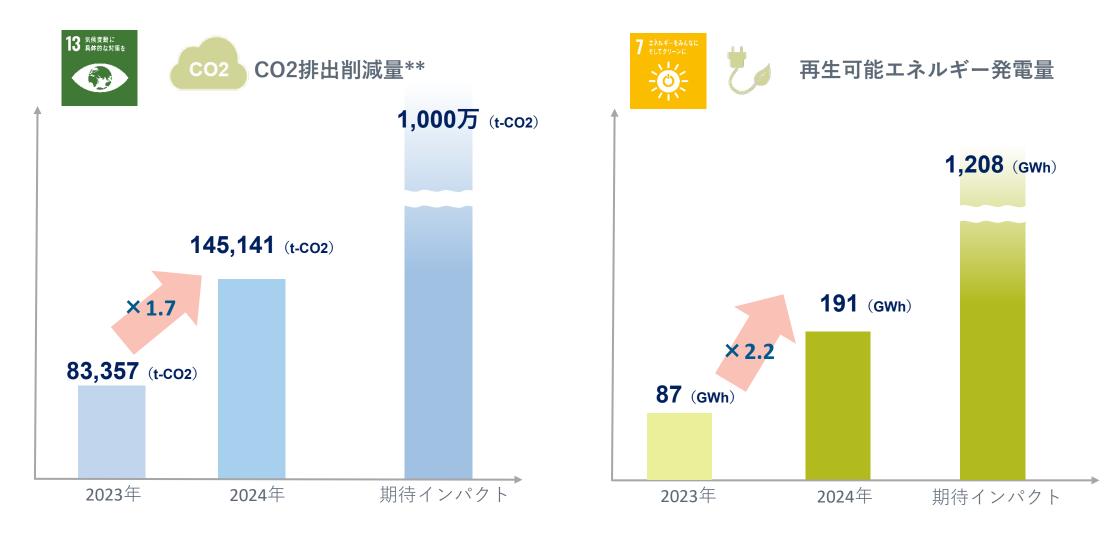


# インパクト達成状況および期待インパクト(以下一例)

インパクト指標	実績		期待インパクト	CDC-
	2023年12月末	<b>2024</b> 年1 <b>2</b> 月末	<b>一 知可 フ ハ ノ 「</b>	SDGs
CO2排出削減量 (t-CO2)	83,357 (t-CO2)	<b>145,141</b> (t-CO2) (前期比: <b>174%</b> )	<b>1,000万</b> (t-CO2)	13 *新老鞋(
再生可能 エネルギー発電量 (GWh)	87 (GWh)	<b>191</b> (GWh) (前期比: <b>220%</b> )	<b>1,208</b> (GWh)	7 18/4-524 61797-52
省エネ量(MWh)	<b>78</b> (GWh)	<b>88</b> (GMh) (前期比: <b>112%</b> )	<b>259</b> (GWh)	7 1806-84

# 今期のインパクト達成状況:投資先の事業成長とともにインパクトの創出量が拡大

投資先による主なインパクト指標であるCO2排出削減量、再生可能エネルギー発電量共にインパクト創出量\*が拡大しています。



\*EEI 4号、5号、Booster Fundの累計値。\*\*CO2排出削減量、カーボンクレジット創出量、CO2固定量の合計値

環境エネルギー投資(EEI)のインパクト投資

# EEIのインパクト投資による貢献 スタートアップ投資・支援を通じた持続可能な社会への貢献

**半歩先の大きな課題と市場を見据え、成長が期待できる**投資先を特定、投資します。当社がリスクマネーを提供し事業成長を支えること が呼び水効果となり、当分野へのエコシステムや投資の拡大に貢献、投資先の事業を通じて持続可能な社会の構築を目指しています。

### EEIによる投資

### 投資先の事業成長とインパクト創出

持続可能な環境・社会への貢献



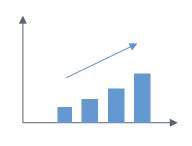
スタートアップの成長に (\$ 必要なリスクマネー

経験のある投資経験者、 業界の知見やノウハウ

環境・エネルギーを中心 とした投資分野に おける**ネットワーク** 

### 投資先が事業成長と ともにインパクトを創出

EEIによる支援



事業成長、インパクト 実践、Exitの支援

#### <インパクト創出例\*>



CO2排出削減



再エネ発電



省エネ



持続可能性に関する開示



プラスチック削減



バッテリーのリサイクル



フードロス削減

エコシステムの構築や呼び水効果による

環境・社会課題に取り組むスタートアップへの資金の増加

### SUSTAINABLE GOALS



















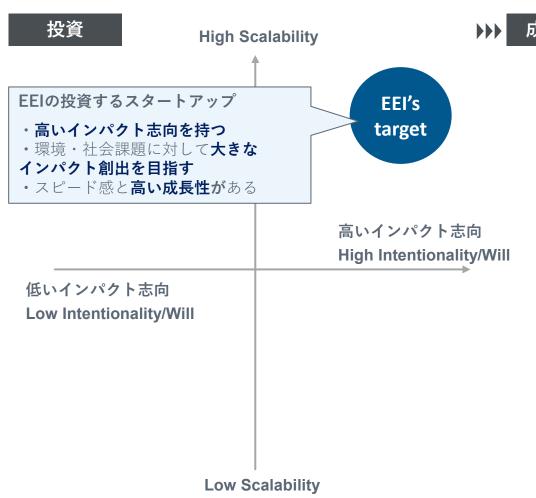


脱炭素社会の実現等 持続可能な社会の構築

\*主要なインパクトKPIを抜粋

# EEIのインパクト投資:課題解決への意志を持ってスケールアップを目指す

高いインパクト志向を持ち、スピード感を持って大きなインパクトの創出と高い成長性が期待できるスタートアップに対して投資・成長支援をしています。



▶▶▶ 成長支援

環境・社会課題へのソリューション提供による事業成長

#### 投資先によるインパクト創出

### スタートアッフ

- **ピュアなパーパスが魅力的な人材と成長資金を惹きつけ、** 事業成長を加速。
- 先見性を持って事業に取り組むことで、スケーラビリティのある インパクトの創出を狙い、高い事業成長性を発揮。

魅力的な人材

事業連携機会 (大企業・スタートアップ)

成長資金

#### EEIの投資先への貢献

投資先の事業成長とインパクト創出の支援<br/>・ リスクマネーの供給

- 当該領域へのリスクマネーの**呼び水効果**
- インパクト創出に向けた取り組みおよび人材の確保や事業連携の支援
- 当該領域における**エコシステムの構築**

© 2025 Energy & Environment Investment, Inc.

# 投資フローと成長支援

インパクトKPI及びESGの達成状況を投資実行時に投資委員会にて評価し、投資後は定期的にモニタリングを実施しています。

• 投資時に投資先が創出するインパクトを訂正・定量的に把握し、ESG体制の現時点を把握。会社の成長段階に対して、イン パクト創出の拡大とESG体制の改善を支援。インパクト・ESGと事業成長は相互に関連するため、双方向の支援を実施。

### ソーシング・DD

#### 投資実行

### モニタリング (成長支援)

### エグジット

事業 評価

インパクト

評価

- 市場性、成長可能性等の評価
- 技術、サービス、製品、ビジネ スモデル等の優位性を検討
- チームやガバナンス、財務リ ターン評価
- 起業家・チームの将来の成長戦 略、事業KPIの確認
- 戦略に応じた資本政策・ファイ ナンス戦略のディスカッション と合意
- 取締役会等を通じた適切なタイ ミングでの経営支援
- 戦略、財務、顧客や人材獲得、 資本アクセスなど多面的な成長 支援を実施
- 成長に応じた体制、人材確保、 エクイティストーリー等の支援
- 買収先の発掘等、成長維持に必 要な支援





- インパクト志向:事業による社 会・環境課題解決への意図と具 体的解決策を確認
- 課題とソリューションのアライ ンメントを確認



• 投資先が目指す「インパクト KPII と「期待インパクト」を SDGsの17項目を参考に数値化 し、設定

- 成長プロセスごとにインパクト 創出のモニタリングを定期的に 実施
- IMMをサポートし、事業成長と インパクトの創出を後押し



個別案件及びファンド全体の

ESG体制/インパクトKPI達成

状況を評価 • インパクト創出の継続可能性 の把握と支援



- ESGの達成状況と体制を確認
- アーリーステージの場合は将来 のESGへの貢献度を把握
- ESGの各項目に関して指標を設 定し、定量評価を実施
- 事業成長に向けた改善点を明確 化
- 将来のIPOやM&Aに向けて、達 成状況を確認
- ESG指標の改善がステージに比 較して遅れている場合は改善策 を講じる



インパクト創出と事業成長が両 輪で達成しているかPDCAサイ クルをまわして改善

# インパクト投資エコシステムへの参画と貢献

当社は、国内唯一の環境・エネルギーに特化したVCファンドのみならず、EEI5号は国内最大のインパクトVC投資ファンドとして、 グローバルな各種イニシアティブに参加し、インパクト投資の実践・洗練と市場拡大への貢献しています。

### インパクト投資の先駆事例等から学び、 グローバルな潮流に沿った実践



 グローバルなインパクトVCで構成される Impact Capital Managers (ICM) に日本 の企業で初めて加入し(2020年)、グローバ ルなインパクトVCと定期的に情報交換。



• Impact Frontiersによるインパクトレポー ティングのパイロットプログラムに参加。



• 将来のGHG削減インパクトを推計 するためのフレームワークやツールを構築する Project Frameのプロジェクトに参画。

### インパクト志向の投融資の 市場拡大に向けた貢献

#### インパクト志向金融宣言 Japan Impact-driven Financing Initiative

• 2022年に金融業界を中心に発足したインパクト志向金融宣言に参画し、意見交換を通じた市場拡大・形成に貢献。



• 環境省の「日本のクライメイトテック エコシステム構築に向けた検討会」の 検討委員に就任し、政策提言に寄与。 補助金事業の審査員としても関与。



• インパクト創出のため投資家・金融機関、企業、自治体等の幅広い関係者の対話の場であるインパクトコンソーシアムに法人会員として参加。

## インパクト評価の新たな試み インパクト×AI



Impact Investing

# We Tested Al Impact Assessments. Here's What We Learned.

High-quality impact data and assessments are vital for allocating capital effectively, yet they are resource-intensive for investors and social innovators. Can generative AI speed up and strengthen impact-performance assessment of venture investments?

CITE SHARE COMMENT PRINT ORDER REPRINTS

By Nicholas Andreou, Philipp Essl & Jeremy Rogers | Sep. 15, 2025





### Impact Cloud IC(インパクト可視化SaaS)とは

企業、組織や各取り組み(プロジェクト)が創出するインパクトを可視化する過程を、SaaS (AIと当社独自DBの参照にて構成)で皆様をナビゲートし、インパクトに関する知識・ノウハウ・実務の習得と、効率化を実現します

#### 【Impact Cloud ICの特長】

必要な情報をインプットしてから ロジックモデルやインパクト指標の提示まで およそ15分 (\*\*) で完結

SaaSによるナビゲートに沿って進め インパクト設計に関する<mark>ノウハウ、実務を習得</mark>

#### ※当社調べ

(インプット情報を収集する時間及び、ディスカッション等の時間は除きます)





### 株式会社 環境エネルギー投資

〒141-0022 東京都品川区東五反田5-11-1

URL: http://www.ee-investment.jp/

### **Energy & Environment Investment, Inc.**

5-11-1 Higashigotanda, Shinagawa-ku, Tokyo, 141-0022, Japan

URL: http://www.ee-investment.jp/

本資料の著作権は、株式会社環境エネルギー投資または原著作権者にあります。本資料を転載使用するにあたっては、必ず株式会社環境エネルギー投資の著作物であることを明示してください。